

みずほの教育

MIZUHO BOARD OF EDUCATION

令和元年（2019）10／1

第32号（年3回発行）

編集・発行：瑞穂町教育委員会

〒190-1221 瑞穂町大字箱根ヶ崎2475

TEL 042-557-6682 FAX 042-557-2693

<https://www.town.mizuho.tokyo.jp/>



人と人が かかわり合って 文化・教養をはぐくむまち みずほ



だるま絵付け体験



この事業は、多摩・島しょ広域連携活動助成金事業として青梅市教育委員会と連携し、青梅市立学校および瑞穂町立学校の小学校3年生から中学校3年生までの申し込みのあった児童・生徒が参加したものです。

7月21日、スカイホール小ホールにて、町の地元のだるま職人の方を招いて実施しました。専用の筆でだるまの顔のひげを描くのが難しそうでしたが、皆さん集中して取り組んでいました。

また、絵付け体験の後、希望された方は、だるま工房の見学をしました。多くのだるま作りに驚かされるだけではなく、色の鮮やかさや、多くの原料を使っていること、また気温や天候により作業工程を変えることを学びました。

瑞穂町教育委員会では、地域のことを学ぶ、ふるさと学習「みずほ学」を推進しています。地域のことは、さまざまな場所と方法で学ぶことができます。だるま絵付け体験はその中の一つです。児童・生徒の皆さんにあった「みずほ学」をこれからも進めていきます。



みずほっ子目標

- み みずから学び 考えるひと
- ず すすんで社会とかかわる 心豊かなひと
- ほ ほがらか 明るく 元気なひと

児童・生徒数（令和元年9月1日現在）

単位：人

一小	二小	三小	四小	五小	小学校計	瑞中	二中	中学校計	小・中学校合計
381	233	304	406	221	1,545	450	387	837	2,382

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、平成30年度に教育委員会が行った事務について点検・評価を行い、有識者3人から意見をいただきました。

評価結果の主なものを紹介します。

【A評価事業】

❖中学生東京駅伝の支援（指導課）

東京都主催の中学生「東京駅伝」大会への参加をとおして、生徒が運動に親しむ機会を設けるとともに、他の自治体の中学生とのスポーツを通じた交流を図りました。選手団・コーチ団を組織し、試走会など計画的な練習を積んだうえで大会に臨んだ結果、男子チームにおいては、参加した自治体の中で参加記録を一番大きく更新しました。



❖子どもの居場所づくり（社会教育課）

小学校を対象に、放課後の時間を活用してフリースペースやパソコン教室等の活動を実施しました。平成30年度は、目標の300回を大幅に上回り事業を実施することができました。

今後は、回数や参加者数以外に、活動内容をさらに充実させていくことを目標とします。

○放課後子ども教室事業 実施回数・参加者数

	平成30年度	
	目標	実績
実施回数	300回	374回
参加者	5,000人	5,952人



❖郷土資料館及び耕心館の管理・運営事業（図書館）

指定管理者により郷土資料館及び耕心館の維持管理を適正に行いました。講演会や体験講座、コンサート、企画展など多くの事業を実施した結果、町内外から多くの方に来館いただきました。年間の来館者数は、前年度と比較して増加し、平成30年度の来館者目標を大幅に超えることができました。

今後も指定管理者や各団体等と連携し、魅力ある事業を充実させるとともに、更なる集客に努めていきます。

○郷土資料館・耕心館 来館者数

(単位：人)

施設名	平成29年度		平成30年度	
	目標	実績	目標	実績
郷土資料館	30,000	40,392	35,000	45,666
耕心館	35,000	62,322	40,000	67,327



【C評価事業】

❖安全教育充実のための支援（指導課）

児童・生徒に対して、安全教育プログラムに基づいた安全指導を行い、学校生活をはじめ、自己を取り巻く災害や事故等に対して適切な対応をとることのできる資質・能力の向上を図りました。しかし、交通安全に関して、町内で児童・生徒による交通事故が複数発生し、これを重く受け止める必要があることから、C評価としました。

今後は、交通安全を中心とした安全指導を徹底するとともに、児童・生徒が自他の命を大切に、守ることができる教育を推進します。

【D評価事業】

❖町民体育祭の開催（社会教育課）

平成30年度町民体育祭は、町内会・自治会への参加意向調査の結果を踏まえ、検討した結果、休止となったため、D評価としました。

今回の点検・評価の結果を受けて、教育委員会の活動の透明性を高め、より一層の責任説明を果たし、皆さまに信頼される教育行政を推進していきます。

詳しくは、町内公共施設に設置してある報告書または教育委員会ホームページをご覧ください。

○瑞穂町教育委員会所管事務事業 点検・評価一覧

評価	教育課	指導課	社会教育課	図書館	計
A (目標を上回って達成できた)	0	1	1	1	3
B (目標をほぼ達成できた)	13	42	23	15	93
C (目標を十分に達成することができなかった)	0	1	0	0	1
D (目標を達成できなかった)	0	0	1	0	1
合計	13	44	25	16	98

※教育課・指導課連携事業1件、指導課・図書館連携事業3件あり

【問合せ 教育課庶務係 ☎557-6682】

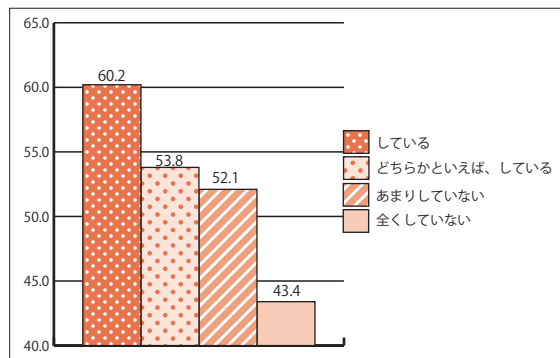
平成31年度 全国学力・学習状況調査結果を受けて ご家庭・地域と連携させていただきたい取組

別刷りの分析結果（平成31年度 全国学力・学習状況調査の瑞穂町の結果、分析及び方策等について）に加えて、瑞穂町の児童・生徒の状況について詳しく説明します。

（瑞穂町の結果、数値は国語及び算数・数学、英語の各平均正答率の平均、単位は点）

小学校 第6学年

「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」



この質問について「している」と答えた児童と「全くしていない」と答えた児童の平均正答率の差は、16.8点ありました。

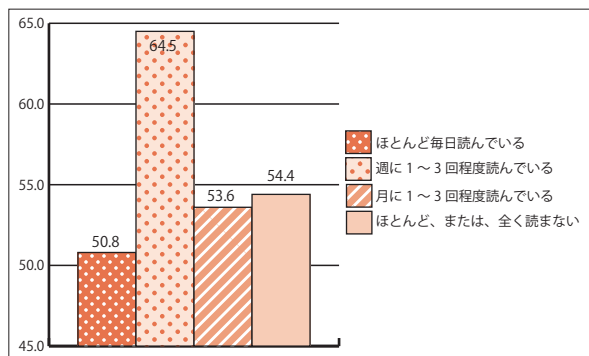
お子さんに、学校でどんなことがあったかを聞いても、あまりよい反応が返ってこないこともあるかもしれません。そのような時には、学校公開や学校行事でご覧いただいたことを基にお子さんに、「算数の授業はどうだった？」や「学芸会のセリフ、体育館の後ろの方で聞いていたけど、はっきりと聞こえたよ。」など、具体的に聞いていただ

いたり、ほめたりする声掛けが効果的です。

家庭学習（宿題）を通して、「へえ、学校でこういうこと勉強しているんだ。」という声掛けをすることで、学校での出来事を話す機会も増えて、ご家庭での言語活動が充実できることにより、学力向上が期待されます。

中学校 第3学年

「新聞を読んでいますか」



一見すると、「ほとんど毎日読んでいる」生徒は高い平均正答率となっていませんが、「週に1~3回程度読んでいる」と回答した生徒は、他の回答をした生徒よりも10点以上平均正答率の差がありました。

新聞には様々なことが載っています。世の中のことについて、大人に一步近づいた生徒にとって知るよい機会にもなります。毎日とはいきませんが、新聞（インターネット上の記事を含む）について、週に1~3回程度読ませるとともに、家庭の中で話をすると効果的です。「〇

〇の事が載っているけど、これについてどう考える？」など、お子さんに話しかけてみることによって、お子さんの思考力が高まったり、感想を述べることで表現力が豊かになったりすることが期待されます。

昨年度も載せましたが他に、以下のような取組が考えられます。

家庭教育資料 げんきに はつらつ 瑞穂の子（瑞穂町教育委員会）より

○子どもと一緒に本を読む（「読み聞かせ」や「家読（うちどく）＝読んだ本について会話する」）

読書は、想像力や思考力を身に付けるだけではなく、豊かな感性や思いやりの心を育む大切な営みです。家族で同じ本を読んで、読んだ本について会話することもよい取組になります。

○ノートをていねいに書くことを確認する

家庭での勉強を見る機会がありましたら、ノートがていねいに書かれているかを見てください。できているときにほめることで、子どもはよりていねいに書くようになります。

○日記を書くことをすすめる

最初は一行でも、二行でもかまいません。徐々に文章の量が増えることで、自分で計画的に物事を進める力がついていきます。

令和2年度に使用する町立小・中学校の教科書

令和2年度に町立小学校で使用する教科書が、教育委員会（定例会）で下表のとおり採択されました。なお、中学校は、令和元年度と同じ発行者の教科書を使用します。

小学校		中学校			
種目	発行者	種目	発行者	種目	発行者
国語	光村図書出版	国語	光村図書出版	音楽(一般)	教育出版
書写	光村図書出版	書写	教育出版	音楽(器楽合奏)	教育出版
社会	東京書籍	社会(地理)	帝国書院	美術	日本文教出版
地図	帝国書院	社会(歴史)	帝国書院	保健体育	学研教育みらい
算数	東京書籍	社会(公民)	帝国書院	技術・家庭(技術分野)	開隆堂出版
理科	大日本図書	地図	帝国書院	技術・家庭(家庭分野)	開隆堂出版
生活	東京書籍	数学	東京書籍	外国語	学校図書
音楽	教育芸術社	理科	東京書籍		
図画工作	開隆堂出版				
家庭	開隆堂出版				
保健	学研教育みらい				
外国語	教育出版				
特別の教科 道徳	日本文教出版				

※ 中学校「特別の教科 道徳」については、平成30年度に採択された「日本文教出版」の教科書を引き続き使用します。

【問合せ 指導課指導係 ☎557-6694】

就学援助費制度の新入学用品費を入学前に支給します

町では令和2年度に小・中学校へ入学される児童・生徒の保護者の方へ、就学援助費制度の新入学用品費を入学前（3月中）に支給します。内容については、次の表のとおりです。

	対象となる方	支給額（国が定める基準額）	申請について	注意事項	今回申請し忘れた場合、審査の結果で非認定となった場合
小学校 新1年生	瑞穂町に住所を有し、翌年度小学校へ入学する未就学児の保護者の方で、経済的理由により学用品費の支払いが困難な方が申請し、「準要保護」の認定を受けた方。	50,600円	10月に各小学校で実施する就学時健康診断時に申請書を配布します。（ホームページからも申請書をダウンロードできます。）	①今回の新入学用品費の支給を受けた場合でも、「令和2年度就学援助費制度」を希望する場合は、入学後に別途申請をしていただく必要があります。（申請書は各学校から配布します。） ②今回の新入学用品費の支給を受けた場合は、「令和2年度就学援助費制度」の新入学用品費は対象となりません。	「令和2年度就学援助費制度」で必ず4月中に申請してください。 ※「令和2年度就学援助費制度」で「準要保護」の決定を受けた場合は、「新入学用品費」として、令和2年8月末に同様の費用を支給します。 ※審査で用いる基準は「令和2年度就学援助費制度」の基準になります。「令和元年度就学援助費制度」の審査結果と変わる場合があります。
中学校 新1年生	翌年度中学校に入学する児童の保護者の方で、令和2年2月1日現在「令和元年度就学援助費制度」で「準要保護」の認定を受けている方。	57,400円	すでに「令和元年度就学援助費制度」で「準要保護」の認定を受けている方は申請は不要です。新たに申請する場合は教育委員会へお申し込みください。	③令和2年2月1日以降に転出される場合、新入学用品費の返金は求めませんが、転出先の自治体には本町で新入学用品費の入学前支給を行った旨を通知します。 ④入学前支給についての申請書の様式は、「就学援助費・就学奨励費（新入学用品費）入学前支給申請書」となります。	

申請期限：令和2年1月31日（金）

支給時期：令和2年3月中旬

提出先：教育課学務係

支給方法：保護者口座へ振り込み

「準要保護」とは世帯の収入額、人数等を参照し、生活保護基準の約1.5倍を目安に判定し、認定を受けた世帯です。



【問合せ 教育課学務係 ☎557-6683】

イベントの紹介

第13回 瑞穂町こどもフェスティバル

日時 10月20日(日) 午前10時から

場所 スカイホール

親子のふれあいの促進、異年齢間の交流、地域との交流を目的として開催しています。多くの方のご来場をお待ちしています。

【問合せ 社会教育課推進係 ☎557-6695】



第35回 青少年の主張意見発表会

日時 11月30日(土) 開場/午前9時 開演/午前9時15分

場所 スカイホール小ホール

町の次代を担う青少年が、自由な発想と豊かな心のもと、今何を思い、考え、伝えたいのか、ぜひ会場でお聴きください。

小学生、中学生および高校・一般の部の優秀賞入賞者が意見発表をします。

【問合せ 社会教育課推進係 ☎557-6695】



第44回 瑞穂町駅伝競走大会

日時 令和2年1月19日(日) 開会式/午前8時30分 スタート/午前10時

場所 瑞穂町町内

瑞穂町駅伝競走大会は、町の冬の風物詩となっています。近年では、100チーム以上のエントリーがあり、町内の小・中学生も元気な走りを見せています。多くの方々の沿道からの応援をよろしくお願いします。

【問合せ 社会教育課体育係 ☎557-7071】



青少年国際派遣事業

8月15日から25日まで、町内の中学生8名が姉妹都市である米国モーガンヒル市を訪問しました。滞在中はホームステイをしながら、市役所や議場、図書館等を視察し、中学校の授業を体験しました。各施設への訪問・見学や行事への参加など、さまざまな体験を通じて交流を深めることができました。

中学校を訪問 授業を体験しました



ホストファミリーとの交流



委員の紹介

●教育委員会委員

下記の方が町議会の同意を得て再任されました。

氏名(敬称略)	任期
滝澤 福一	令和元年10月1日から 令和5年9月30日

●社会教育委員

8月1日付けで、下記の方に新たに委嘱しました。

氏名(敬称略)	任期
中沢 清	令和元年8月1日から 令和3年3月31日

中学校 部活動の活躍

●瑞中吹奏楽部

8月9日に行われた「第59回東京都中学校吹奏楽コンクール」において、昨年度に引き続き金賞という輝かしい結果を残すことができました。現在、10月12日(土)に開催される「2019 第19回東日本学校吹奏楽大会」に向けて練習に励んでいます。

部長の井上夏美さん(3年)は、「東日本大会では、聞いてくださる皆さまに感動と感謝の気持ちを伝えられるような演奏をしたいです。」と抱負を語っています。

全員で、心を一つにした素敵な演奏ができるよう、応援をよろしくお願いします。



図書館 (瑞穂町図書館・元狭山ふるさと思い出館・殿ヶ谷図書室・武蔵野コミュニティセンター図書室・長岡コミュニティセンター図書室)

●第2回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール 研修会

今年度で2回目となる「瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール」作品募集に伴う研修会を、各小・中学校図書館司書、瑞穂町図書館司書及び、瑞穂農芸高等学校の担当教諭(今年度より、高校生の部を追加したため)を対象に実施しました。

講師に全国コンクールの審査員でもある小畑信夫氏を招き、昨年の入賞作品を基に各研修生から意見を聞き、公表されている審査基準を基に、良い作品を作るための指導のポイントをアドバイスしていただきました。



●瑞穂町の図書館をつくるワークショップ参加者募集

瑞穂町図書館改修のための計画を策定するにあたり、ワークショップを通じて利用者の皆さまからご意見をいただき、よりよい図書館づくりを目指します。

日時：10月20日(日)、11月23日(祝)

※両とも午後1時開場、午後1時30分から午後4時まで

※両とも参加していただければありがたいですが、1回だけでも参加可能です。

場所：瑞穂町ふれあいセンター大会議室

申込方法：①電話：042-557-5614 ②Eメール：toshokan@town.mizuho.tokyo.jp

※Eメールの場合は件名を「ワークショップ申込み」とし、本文に参加者全員のお名前と電話番号を明記してください。



●ホームページのデザインが変わります

10月1日(火)午前9時から図書館ホームページのデザインが変わります。

検索した本の表紙画像が見られるようになるほか、貸出ランキングや予約ランキング、こども用のページが新たにできました。スマートフォンからも見やすいデザインになりましたので、ご利用ください。



●貸出カードが変わります

紙芝居「ザクザクおばば」のイラストデザインカードが新たに加わりました。材質もプラスチックカードになり、財布やカードケースに入れやすくなりました。カードの変更を希望される方は、窓口までお申し出ください。

※これまでのカードも引き続き利用できます。



【問合せ 図書館 ☎557-5614】

❁ 瑞穂町郷土資料館 けやき館…特別展「紙わざ大賞28 at けやき館」 6月28日～7月21日

紙わざ大賞とは、特種東海製紙(株)が主催しているペーパーアートの審査会です。紙が使用された、自由な発想で生み出す「紙わざ」作品を募集したもので、けやき館では特種東海製紙(株)にご協力をいただき、第28回紙わざ大賞入選作品より32点を展示しました。

けやき館では平成28年以来、2回目の展示となりました。作品は大賞の「霜柱」、準大賞「扇いじゃダメ！」などいろいろなバリエーションがあり、技術的に精緻な作品、着想が独創的でユーモラスな作品など、来館者の目を驚かせる作品ばかりでした。

来館者の方々からは、本当に紙でできてるの？発想がすごいね！など、多くのご感想をいただきました。

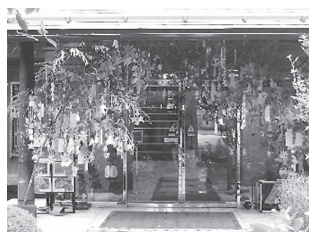


❁ 耕心館……………みずほ★宇宙七タプロジェクト2019

願いごとやメッセージが書かれた短冊をデータ化し、国際宇宙ステーションに物資などを届ける宇宙船「このとり」にデータを格納したメディアを載せ、種子島宇宙センターからH2Bロケットで打ち上げ、国際宇宙ステーションという「星」に願いを届けるプロジェクトです。地元企業である(株)IH1とのコラボ(共創)により実現したものです。同社の協力により、図書館、けやき館、耕心館を拠点に、多くの方の願いごとを星に届けられることになりました。今年度、耕心館では狭山保育園、みずほひじり保育園および東松原保育園にご協力いただき、園児の願いごと(短冊)を収集・データ化しました。このデータは秋ごろに宇宙へと打ち上げられる予定です。園児が書いた短冊は耕心館の入り口やけやき館に飾られ、色とりどりのお飾りと一緒に来館者を楽しませてくれました。7月6日には「宇宙七タまつり」として、エアドーム型プラネタリウム「星たまご」、藍のたたき染体験、うちわに絵を描こうin蚊帳、水ヨーヨー釣りなど、懐かしい縁日をイメージして実施しました。大人も子供もみんな笑顔で参加され、賑わいのある一日となりました。



「たなばた折り紙教室
(狭山保育園)」



「七夕飾り」



宇宙七タまつり
「うちわに絵を描こうin蚊帳」



宇宙七タまつり
「藍のたたき染体験」

～ 瑞穂町にある文化財めぐり 第23回 ～

高根の神輿(有形民俗文化財) <所在地 瑞穂町高根>

高根の神輿は、瑞穂町高根に伝わる神輿で、2年に1度(7月中旬)に行われる八雲神社祭礼において、高根地区の鎮守高根神社より御霊代を受け、渡御に使用されています。制作者及び制作年代は、それを示す史料が残されていないため明らかではないが、明治初年に制作されたと推定され、江戸末期から明治にかけて活躍した地元宮大工 伊東清右衛門により建造されたと伝えられています。

本神輿は、鏝(かざり)金具の装飾を一切施すことなく、素木を主体としており、他例に見られない親柱の「鳳凰・龍・虎・亀」の彫り抜きが異彩を放っており、神社建築技術と木彫りの粋が結集された神輿です。



高根の神輿



鳳凰



龍



虎



亀

柱の四方の飾り

What's your dream? ～あなたの夢は何ですか？～

町内の小中学生にインタビュー形式で将来の夢を聞くコーナーです。



第14回：二中 3年生 なかじま 中島 リサさん

※今回は、女子バスケットボール部で6月までキャプテンをつとめ、東京都代表としてジュニアオールスター（都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会）に出場するなどの活躍をしている中島さんにインタビューを行いました。



▶あなたの夢は何ですか？

夢は2つあり、1番はバスケの選手になることで、もう一つはスポーツトレーナーになることです。

▶その夢をもったきっかけはなんですか？

バスケは小学校2年生からはじめました。最初は本当に遊び程度でしたが、練習や試合をするうちにどんどん楽しくなって本気で取り組むようになり、小学生の頃からバスケの選手になりたいと周りの人にも話していました。また、中学校2年生になって、進学や将来のことを考えていたときに、スポーツトレーナーという職業について知りました。スポーツトレーナーは、試合に出る選手の体のケアやトレーニングの指導などを行いますが、これなら将来、自分が選手ではなくても、バスケに関わり続けることができると思い、強い関心を持ちました。

▶夢の実現にむけて、今頑張っていることはありますか？

土・日曜日には、高校のバスケット部の練習にも参加しています。高校の練習は、中学に比べて細かいところまで指導を受け、レベルも高いですが、頑張っています！

教育委員会委員談話

第19回：瑞穂町教育委員会 教育長職務代理者 関谷 忠

学校教育でカリキュラムを編成するときの大もとにあたる「学習指導要領」が改訂され、来年度から小学校の、さらにその翌年からは中学校の教科書が新しくなります。今次の改定のねらいとして、学力観の見直しが挙げられます。これからの学習には『主体的・対話的で深い学び』が必要とされ、ただ答えを出すだけでなく、どうしてそういう答えになるのか、周囲と議論をしたうえでしっかりと自分のものにしなさい、と「学習指導要領」は言っています。

新しい教科書も、その方針に基づいて作られていま

す。表面的な記憶力だけでなく、問題をしっかりとらえ、他の人の声に耳を傾けて世の中の課題を解決できる力を育てることこそ、はがれ落ちない真の学力が身に着くことになるということです。

保護者の皆さまも、どうぞそんな目で新しい教科書をご覧くださいと思います。



教育委員会定例会報告

前号でお知らせした以降、5月から8月まで定例会を4回開催しました。

主な議決事項、報告事項は、次のとおりです。

<議決事項>

- ・瑞穂町特別支援教室判定委員会要綱
- ・瑞穂町特別支援教育通級支援委員会設置要綱を廃止する訓令
- ・瑞穂町通級指導協議会設置要綱を廃止する告示
- ・「令和元年度瑞穂町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」に伴う有識者の委嘱について
- ・令和元年度一般会計補正予算（第2号）の原案中教育に関する部分の意見聴取について
- ・瑞穂町図書館協議会委員の委嘱について
- ・瑞穂町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成30年度対象事業分）について
- ・瑞穂町社会教育委員の委嘱について
- ・令和2年度使用小学校教科用図書

- ・令和2年度使用中学校教科用図書の採択について
- ・令和2年度使用小学校特別支援学級教科用図書の採択について
- ・令和2年度使用中学校特別支援学級教科用図書の採択について
- ・令和元年度一般会計補正予算（第3号）の原案中教育に関する部分の意見聴取について

<報告事項>

- ・平成30年度一般会計補正予算（第7号）の原案中教育に関する部分の意見聴取について
- ・瑞穂町教育基本計画審議会委員の委嘱について

教育委員会の会議は、毎月1回（原則として、第4木曜日）開催し、傍聴することができます（非公開の事項を除きます）。

開催日時および会場は広報みずほに掲載されます。また、ホームページから開催内容や過去の会議録を見ることができます。

【問合せ 教育課庶務係 ☎557-6682】